

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 No.19

■発行日／平成28年7月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。

高砂市政は去る4月10日、現職市長登幸人氏が3期目の当選を果たされ平成28年度が本格的にスタートしました。その後、既に約4か月が経過し、治水対策等着実に進んでいる事業がある一方で、懸案となっている高砂市役所庁舎の建設については、未だ結論が出ていない状況です。

今回の会報では、6月定例議会で議決した高校生等の入院医療費無料化他、以下の内容についてご報告をさせて頂きたく、ご一読の程、よろしくお願いいたします。

3月に四万十川にてフルマラソン無事完走で“公約”実現👍



1. 6月議会議決：高校生等の入院医療費の無料化
2. 市政報告会（6月6日実施）の内容報告
3. 市役所庁舎及び中学校給食実施に向けた検討の現状

1. 高校生等の入院医療費の無料化（本年7月より実施）

高砂市議会6月定例議会が6月9日～21日の期間で開催され、本件を議決しました。登市政3期目の提案である「高校生等への入院医療費無料化」は、近隣自治体に先駆けての導入であり高砂市が子育てに対し積極的に支援するものとして評価できると考えます。（補正額は5百万円）

この制度は、これまで中学3年生迄だった親の所得制限のない医療費無料化の対象を更に拡充し、入院費用に限りませんが高校生等18歳迄としたものです。（但し婚姻者等一部対象外あり）

解説

当初、当局から提案された内容では、就労者は対象外とされていました。しかし、議会での質疑を経て「就労しながら定時制高校に通う学生等は対象にすべき」との意見が多数出され、当事者の前年所得が300万円以下という条件で、原案が訂正され可決されました。

多くの場合、当局から出された案は、様々な質疑を経てもそのまま可決される場合が殆どですが、今回の様に議員の意見を反映し原案が訂正され、より良い政策になった事は非常に喜ばしいことだと思います。

近隣自治体と比較した、親の所得制限なしでの医療費が無料の年齢

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
学年								小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3		
高砂市																					
稲美町																					
播磨町																					
明石市																					
加古川市																					
姫路市																					
神戸市																					

この部分が今回追加された医療費無料の対象。比較の近隣自治体にはありません。

2. 市政報告会 内容報告

去る6月6日(月) 17時45分から約1時間、(株)カネカ高砂工業所の大食堂にて、カネカ社員・OB及び協力会社の方々を対象に市政報告会を実施致しました。

月曜日の夕刻、お疲れの時間帯にもかかわらず約260名の方々にご出席頂きましたことをお礼申し上げますと共に、この紙面を使い、その内容についてご報告させていただきます。



① 市政に対する思い

以下の写真は、高砂市内の日常生活の中に見受けられる公共スペースに設置された物の様子。



綺麗に
変身→



高砂市総合運動公園内の時計が故障した状態でしたが、ご覧の様に綺麗な「案内版」に変身しました。



小松原付近の歩道橋に掲げられた看板も綺麗になる予定



私の主張

この高砂市に住んだり働いたりしている人が(市が目指す→)「住んでいることに誇りをもてる街」にする為には、生活空間を快適と感じる様に保つことが非常に大切。

“些細な事にも配慮する”。写真の様な風景にも改善が必要。



私の主張

短期・中期・長期の視点で下記の事に取り組んでいきたいと考えています。

短期

- ① 議案や政策、施設管理等、日々市民の **皆様が受ける公共サービスへのチェックと提言**
- ② 皆様からのご相談への対応

中期

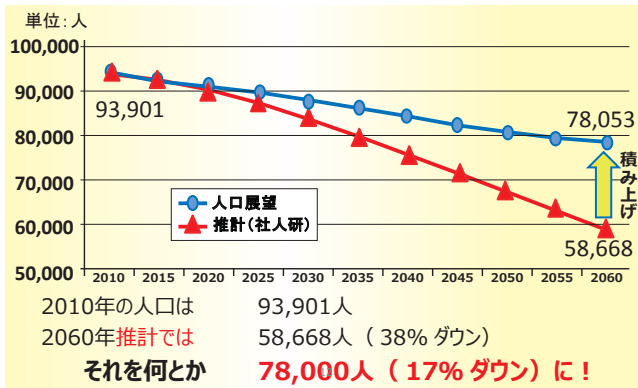
人口減少社会という将来を見据えた **持続可能な財政運営**(公共施設老朽化問題対策等)へのチェックと提言

長期

『高砂市人材育成基本方針』の浸透による **執行機関(公務員)の仕事の質向上**

② 高砂市の戦略と魅力について

高砂市の人口ビジョン



解説

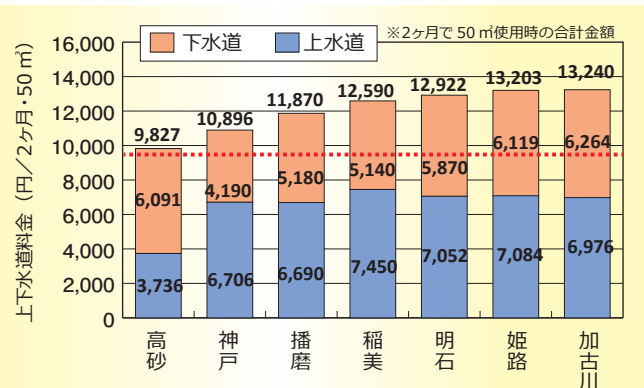
高砂市の現在の人口は約9万3千人。その人口が2060年頃には6万人を割る見込み。それを何とか**7万8千人レベルにしたいと考え策定したのが【たかさご未来総合戦略】**



私の主張

安価な水道料金、継続する待機児童ゼロ等、高砂市は多くの魅力を有しているにも関わらず、市外への転出者が多い事が現在の課題。**何が課題解決につながるのかをしっかりと考えながら、住んでいる人が誇りを持てる街になる様に、短期・中期・長期の視点で取り組んでいきたい。**

高砂市の水道料金 (近隣自治体比較)



解説

高砂市は近隣自治体と比べ明らかに上下水道代が安価。他にも**待機児童0を更新し**続けています。因みに高砂市の上水道代の安さには臨海部の企業が貢献しています。

③ 産業支援について

高砂市が現在実施している産業支援策

① 特定区域内において新規事業を目的に5億円以上投資をした場合

➡ **固定資産税・都市計画税が3年間1/2**

② 一定の条件で社宅を新設した場合

➡ **固定資産税を1年分還付**



私の主張

企業は世界を市場に事業展開をしており、その市場の変化(ニーズ)に合わせ自らを変化させていく。**本来の政治の役割はこの市場と企業の変化をフォローすべく法令や条例、許認可権限の運用等も含め支援をしていくこと。**一市議会議員では大したことは出来ないかもしれないが、他の議員の力も借りながらこの視点で活動を行っていきたい。

④ 今後の課題について

人口減少・少子高齢化、公共施設の老朽化の時代を迎え、行政手法は広域化、施設の統廃合、地方創生等、今までにない形となってきている。そういう状況下、**まじめに働く人が適切な公共サービスを受けられる様に、そして人生の軸となる仕事、産業が発展していくことを支援する**という視点をもって今後も活動をしていきたい。



3. 市役所庁舎 及び 中学校給食実施に向けた検討の現状

① 高砂市役所はどうなる？ ⇒ 「現地建替え(案)」が最有力

解説

当局からは6月議会にて下記資料の通り事業費用、期間の両面に加え総合的に判断して「現地建替え(案)」が最適との説明がありました。この件について私は「パブコメにある“側方流動”(液状化で地滑りする現象)への懸念はないのか？」と疑問を投げかけました。また他の議員からは「明姫幹線南の用地取得に5年は長過ぎないか？その為にかかるコスト10数億円は削減できるのではないか？」との疑問が出され、未だ明確な確認ができていません。

高砂行政の中心となる市役所庁舎であるだけに、**財政面もさることながら自然災害に対し安心できる場所に構築することは必須要件**であり、引き続き納得する答えを待ちたいと思います。(そう言いながら現庁舎も耐震に問題を抱え、ズルズルと後回しにする訳にもいかない現実があります。)今後の予定としては、今9月議会での提案の後、可決されれば事業がスタートすることになります。



《建替え、移転案》

案①～④	現地建替え	移転建替え		
	案①	案②	案③	案④
候補場所	現在の場所	高砂駅南	明姫幹線南	総合運動公園内
概算整備費	約58億円	約160億円	約80億円	約96億円
総事業期間	5年11ヶ月	8年11ヶ月	9年1ヶ月	10年7ヶ月
(内 庁舎整備)	(5年11ヶ月)	(3年11ヶ月)	(4年1ヶ月)	(4年7ヶ月)
(内 用地取得)	—	(5年)	(5年)	(6年)

* 『たかお治久後援会会報 (NO.18)』にも掲載した資料

② 中学校給食 ⇒ センター方式で平成32年迄には完全実施

解説

市の中学校給食検討委員会からの提言では自校調理方式(各校が敷地内に調理場を持つ方式)が望ましいとのことでしたが、適切な敷地がない学校(松陽中学)があることに加え、施設整備・運営費においてもセンター方式の方が安価であること等の理由でセンター方式が採用される見込みです。



方式		施設整備費用(設計含)	運営費(1年間)
自校方式	5校の合計	26.5億円	1.4億円
給食センター方式	場所は未定(*注1)	21.5億～22.5億円	1.2億円
中中親子方式(*注2)	荒井・鹿島を拠点	22.5億円	1.4億円

*注1) 場所は未定(但し上の資料は中筋市営住宅跡地、竜山中、鹿島中の敷地利用で試算)。現在、実施候補地はこれ以外からも模索中。

*注2) 拠点中学校より別の中学校に配送する方式

<鷹尾治久後援会役員>

会長:渡邊登 副会長:北野光昭 松谷敏道 荒田修 西本裕行 幹事:吉田淳二 会計:谷村 英雄 監査:和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所/TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)